



2023年8月10日（木）
愛知県経済産業局革新事業創造部
スタートアップ推進課
創出・成長支援グループ
担当 松本、大野
内線 3676、3464

国内スタートアップ支援プログラムの成果及び今年度事業について

愛知県は、2018年10月に「アイチ スタートアップAichi-Startup戦略」を策定し、この戦略に基づき、スタートアップ・エコシステムの形成・充実に努めています。

この取組の一環として、スタートアップの創出・育成・展開・誘致を図ることを目的とした4つのプログラムを実施しています。

始めに、2024年10月のオープンを目指して準備を進めている「STATION Ai」（名古屋市昭和区）に先駆け、2020年1月から「PRE-STATION Ai」（名古屋市中村区）を設置し、スタートアップに対して幅広い支援を実施しております。2022年度からは、STATION Ai 株式会社がこの施設の運営を担うとともに、スタートアップへの投資ファンドである「ステーション エーアイ セントラル ジャパンSTATION Ai Central Japan 1号ファンド」の設置等により、支援体制の強化を図っています。

また、2021年度から、「アイチ スタートアップ ブリッジAichi Startup Bridge」事業として首都圏を中心とするベンチャーキャピタル（VC）と愛知県とのネットワークを構築するために、「アイチ パートナー プイシーAichi Partner VC」を認定し、PRE-STATION Ai メンバーのスタートアップ等に対して資金調達機会を提供しています。

さらに、愛知県内各地域において、それぞれの地域特性や強みを生かして主体的にスタートアップを起爆剤としたイノベーションの創出に取り組む機関等を「STATION Ai パートナー拠点」と位置付け、「STATION Ai」、「PRE-STATION Ai」との相互の連携・協力関係の構築を進めており、2022年度からは新たに県内各地域を支援するエコシステム形成支援統括マネージャーを配置し、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を促進しています。

最後に、スタートアップ支援に造詣の深いコーディネーターが、全国のスタートアップと愛知県企業のマッチングによりオープンイノベーションを促進する「あいちマッチング」を2019年度から実施しています。

この度、これまでに実施した国内スタートアップ支援プログラムの成果及び今年度事業について、別添のとおりお知らせします。

国内スタートアップ支援プログラムの成果及び今年度事業について

1 PRE-STATION Ai

(1) これまでの経緯

愛知県は、スタートアップの総合支援を行うことを目的として、2020年1月にスタートアップ支援拠点「STATION Ai 早期支援拠点」を開設しました。その後、スタートアップ支援に関する専門的な知見を持つ「統括マネージャー」を配置し、スタートアップの起業や事業会社との協業に向けた支援、相談体制の強化を図ってきました。

2021年度は、2024年10月開設予定の「STATION Ai」の主要機能を概ね備えるために早期支援拠点に新たな機能を充実し、4月1日から新たに「PRE-STATION Ai」として開設しました。「PRE-STATION Ai」には3名の「統括マネージャー」を配置し、入居スタートアップに対する定期的なメンタリング支援のほか、短期間で急成長を支援するインキュベーションプログラムの実施や、起業成功者や士業等の専門家を招いた勉強会を開催し、スタートアップを総合的に支援してきました。

2022年度からは、「STATION Ai」の整備・運営を担う STATION Ai 株式会社が、「PRE-STATION Ai」の運営を開始するとともに、施設規模の大幅な拡張、STATION Ai がモデルとするフランスの STATION F の知見を取り入れたプログラム等の実施、スタートアップの資金調達支援等を行うための「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」の設立や、オンライン支援を行う枠として新たに「Remote メンバー」制度を導入するなど、2024年度の「STATION Ai」のオープンに向けて本格的に始動しています。

2023年度は、入居スタートアップの増加に対応するため、統括マネージャー及びコミュニティマネージャーを増員し支援体制を強化しました。また2023年6月に「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」がファイナルクローズし、当初10億円程度のファンド規模を想定していましたが、愛知県・名古屋市が先行して出資をしたかきもあり、金融機関・事業会社から総額15億円の出資をしていただきました。

(2) 2022年度事業概要

STATION Ai 開業に先駆けて、We Work グローバルゲート名古屋内に設置した PRE-STATION Ai において、「STATION Ai」の整備・運営を担う STATION Ai 株式会社が、STATION Ai のモデルであるフランスの STATION F から得た知見を踏まえたプログラム等を実施しています。

①【相談・支援業務の実施】

スタートアップ（企業内の新規事業等も含む）、行政・支援機関、企業等の相談を実施。スタートアップの相談には、起業準備、資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務相談、知的財産施策等を含む。

② 【短期集中型プログラムの実施】

創業直後からシードステージのスタートアップが、プログラム期間中に資金調達に臨める状態に事業成長することを目指すプログラムで、スタートアップの成長ステージに合わせて、「インキュベーションプログラム※¹」及び「アクセラレーションプログラム※²」の2つのプログラムを実施し、定期メンタリングや勉強会の開催、ピッチ機会の提供。また、将来的にパートナーとなりうる事業会社や投資家を観客として招き、スタートアップがピッチをするデモデイを開催。

※1 参加するスタートアップが、初期の顧客セグメントで実績を創出し、シードステージ以降の資金調達に臨めることを目的としたプログラム。

※2 参加するスタートアップが、KPI の設計と改善サイクルの実行により、プレ・シリーズ A～シリーズ A 相当の資金調達に臨める状態なることを目的としたプログラム。

③ 【ギルドの運営や勉強会、ピッチイベントの開催によるコミュニティの構築】

メンバー同士が支援し合うコミュニティ「ギルド」の運営や、起業成功者等を講師とした勉強会や外部の事業会社等を招待したスタートアップのピッチイベントを開催し、PRE-STATION Ai メンバー内外のコミュニティを構築。

④ 【STATION Ai Central Japan 1号ファンドの組成】

STATION Ai 株式会社を GP※³ とし、ソフトバンク、愛知県、名古屋市、地域の金融機関や事業会社等が LP※⁴ として出資する STATION Ai Central Japan 1号ファンドを組成し、PRE-STATION Ai メンバーに対する投資を通じて、スタートアップの資金調達を支援。

※3 GP (General Partner 無限責任組合員) : ファンドの運営者

※4 LP (Limited Partner 有限責任組合員) : 投資資金の出し手



PRE-STATION Ai2022 年度キックオフ
セレモニー (2022 年 4 月 7 日)



STATION Ai 短期集中プログラム
デモデイの様子 (2022 年 10 月 21 日)

(3) 事業の成果

時 期	内 容
2020 年 1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップの総合支援を行うことを目的として「STATION Ai 早期支援拠点」を開設
2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・早期支援拠点内に「あいちスタートアップワンストップセンター」を設置 ・「統括マネージャー」を配置（事業受託：Creww株式会社） <p>【入居者数】 35 社（2021 年 3 月）</p> <p>【相談業務の実施】 50 件</p> <p>【インキュベーションプログラムの実施】 参加者 8 社</p>
2021 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・早期支援拠点を新たに「PRE-STATION Ai」として開設 ・「統括マネージャー」を配置（事業受託：パーソルイノベーション株式会社） <p>【入居者数】 48 社（2022 年 3 月）</p> <p>【相談業務の実施】 354 件</p> <p>【インキュベーションプログラムの実施】 参加者（前期 9 社、後期 16 社）</p> <p>【県内起業との協業（事業連携）】 8 件</p> <p>【資金調達件数】 11 件</p>
2022 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「STATION Ai Central Japan 1 号ファンド」の設立 ・新たに「Remote メンバー」制度を導入 ・「統括マネージャー」、「コミュニティマネージャー」を配置（事業受託：STATION Ai 株式会社） <p>【メンバー数】 168 社（Standard メンバー：74 社、Remote メンバー94 社）（2023 年 3 月）</p> <p>【相談業務の実施】 60 件</p> <p>【短期集中型プログラムの実施】</p> <p>（前期）</p> <p>インキュベーションプログラム : 16 社</p> <p>アクセラレーションプログラム : 8 社</p> <p>（後期）</p> <p>インキュベーションプログラム : 11 社</p> <p>アクセラレーションプログラム : 7 社</p> <p>【県内起業との協業（事業連携）】 9 件</p> <p>【資金調達件数】 32 件</p>

(4) 具体的な成果事例

1	PRE-STATION Ai メンバー初のEXIT ^{イグジット} ※事例として、e スポーツの大会支援ツールを開発する株式会社Papillon ^{パピヨン} （名古屋市中村区）が株式会社カヤック（神奈川県鎌倉市）に対して、2022年10月31日付でM&Aによる会社売却。
2	製造工程の在庫を戦略的に持つことで生産性・収益性を向上させる「在庫戦略モデル」の開発・展開を行う株式会社FACTORY ^{ファクトリー} X ^{エックス} （岡崎市）が、シードステージのスタートアップに投資を行うANRI ^{アンリ} 株式会社（東京都渋谷区）から4,000万円を資金調達。

※ スタートアップの出口戦略であり、出資者（創業者や投資家）が株式の売却により利益を得ること。

(5) 2023年度事業について

入居スタートアップの増加に対応するため、統括マネージャー及びコミュニティマネージャーを増員し支援体制を強化するとともに、新たにスタートアップに特化した採用支援事業を開始。相談・支援業務や短期集中型プログラム「STATION Ai Catapult^{カタパルト}」（前期、後期）、コミュニティ運営については、2024年10月のSTATION Ai 開業に向けて、継続して実施していくとともに、ブラッシュアップしていきます。また、引き続きSTATION Ai Central Japan 1号ファンドからの投資によりスタートアップの資金調達の支援をしていきます。

【相談・支援業務】

内容	対象者	実施頻度	実施期間
各種相談（起業準備、資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務相談、知的財産施策等）	スタートアップ、行政・支援機関、企業等	随時	通年

【STATION F の知見を取り入れたプログラム等の実施】

内容	対象者	実施頻度	実施期間
ファウンダーズプログラム（メンバー支援のための基本プログラムとして、定例メンタリング等を実施）	PRE-STATION Ai メンバー	随時	通年
ギルド（メンバー同士が支援し合うコミュニティの運営）	PRE-STATION Ai メンバー	随時	通年

【短期集中型プログラム〔STATION Ai Catapult〕（前期）】

内容	対象者	募集時期	実施期間
① メンタリング ② 勉強会 ③ デモデイ	Incubation Track ^{※1} : 11社 Acceleration Track ^{※2} : 12社	5月に参加スタートアップを募集（2023年5月24日記者発表済み）、10月にDemo Day を公開実施予定。	7月～10月

- ※1 参加するスタートアップが、初期の顧客セグメントで実績を創出し、シードステージ以降の資金調達に臨めることを目的としたプログラム。
- ※2 参加するスタートアップが、KPI の設計と改善サイクルの実行により、プレ・シリーズ A～シリーズ A 相当の資金調達に臨める状態なることを目的としたプログラム。

2 AICHI STARTUP BRIDGE

(1) これまでの経緯

愛知県では、本県と首都圏を中心とする VC とのネットワークを構築し、スタートアップに対して資金調達機会を提供するとともに、スタートアップの資金調達に関する知識の向上等を図るプログラムである「AICHI STARTUP BRIDGE」事業を 2021 年度から実施しています。

VC と本県のネットワーク構築のため「Aichi Partner VC」を 15 社認定し、当地域のスタートアップの資金調達機会の創出を目的として、「Aichi Partner VC」とスタートアップをミートアップするイベントを実施しています。また、スタートアップの資金調達に関する理解度の向上に向けた勉強会や、事業会社のスタートアップ投資の機運醸成に向けた勉強会、また認定 VC がスタートアップの事業のブラッシュアップを行うイベントを開催し、当地域のスタートアップの資金調達の円滑化を支援しています。



Aichi Partner VC とスタートアップのミートアップイベントの様子 (2023 年 3 月 30 日)

(2) 2022 年度事業概要

① 【Aichi Partner VC とスタートアップのミートアップイベントの実施】

Aichi Partner VC と当地域のスタートアップが個別に面談する機会を定期的に設け、当地域のスタートアップの資金調達機会を創出するミートアップイベントを、年 4 回実施。

② 【スタートアップ向け勉強会の開催】

スタートアップの資金調達の理解度を向上させるため、スタートアップ向けの資金調達に関する勉強会を開催。

③ 【事業会社向け勉強会の開催】

事業会社と VC がコミュニケーションを形成する機会を提供し、事業会社のスタートアップ投資の機運を醸成させるため、事業会社向けのスタートアップ投資の勉強会を開催。

④ 【事業ブラッシュアップイベント】

認定 VC4 社とスタートアップの 4 社のマッチングを行い、VC とスタートアップでチームを形成し 5 時間の事業検討後、成果発表を行う「事業ブラッシュアップイベント」を開催。

(3) 事業の成果

2年間にわたる事業により、以下のような成果が創出されました。

内容	2021 年度	2022 年度	合計
Aichi Partner VC とスタートアップのミートアップイベントの実施（参加者数）	24 社	25 社	49 社
スタートアップ向け勉強会の開催	55 名	25 名	80 名
事業会社向け勉強会の開催	15 名	9 名	24 名

(4) 具体的な成果事例

1	非接触型 AI 肌診断アプリ「HADABON」を開発する ^{アクアエイジ} AquaAge株式会社（名古屋市中村区）が、シードステージのスタートアップに投資を行うライフタイムベンチャーズ及びエンジェル投資家から合計 1,200 万円を資金調達。
2	中小製造業の人手不足解消に向け、データを活用した工場向け自動化設備の設計・販売に取り組む株式会社Robofull ^{ロボフル} （名古屋市中村区）が、ANRI 株式会社を始めとした VC から合計 1.5 億円を資金調達。

(5) 2023 年度事業について

前年度に引き続き、認定 VC15 社と当地域のスタートアップに対して資金調達機会の提供等を継続して実施。

内容	対象者	募集時期	実施時期
Aichi Partner VC とスタートアップのミートアップイベントの実施	スタートアップ	5 月、8 月、11 月、 2024 年 2 月	6 月、9 月、12 月、 2024 年 3 月
スタートアップ向け勉強会の実施	スタートアップ	7 月	8 月
事業会社向け勉強会の実施	スタートアップ	2024 年 1 月	2024 年 2 月

3 STATION Ai パートナー拠点事業

(1) これまでの経緯

「Aichi-Startup 戦略」では、愛知県全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を目指し、県内各地域に STATION Ai と連携する「STATION Ai パートナー拠点」の設立を促進することとしています。

2021 年 10 月に、東三河地域において主体的にスタートアップ支援に取り組む企業、大学、行政機関等で構成する「東三河スタートアップ推進協議会」が設立され、県と相互の連携・協力に関する覚書を締結して本県初のパートナー拠点として位置づけました。

2022 年度は、東三河以外の地域においてもパートナー拠点の設立を促進するため、2 名のエコシステム形成支援統括マネージャーが、各地域の取組を支援しました。

2023 年度からは、当該マネージャーを新たに 1 名増員し、各地域の特色を生かした自立的なスタートアップ・エコシステムの形成支援に一層力を入れていきます。

(2) 2022 年度事業概要

① エコシステム形成支援統括マネージャー設置事業

県内各地域を支援する統括マネージャーを合計 2 名配置し、自治体やスタートアップ支援機関等（以下「自治体等」という。）に向けて以下のプログラムを実施するとともに、プログラム等に参加するにあたり、スタートアップ、事業会社、他地域、STATION Ai 等との調整に向けた助言等、地域の実情に応じたアドバイザリー業務を実施。

ア【スタートアップと地域のビジネス共創プログラムの実施】

自治体等にスタートアップ支援の実践機会を提供し、地域でのスタートアップ・エコシステム形成促進を目的に、スタートアップと地域の自治体等とのビジネス共創プログラムとして、1 か月間の「アイチ コ クリエーション スタートアップ プログラムAICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」及び 5 か月間の「インキュベーションAICHI CO-CREATION INCUBATION PROGRAM」を実施。自治体等は地域ネットワークを活用し、スタートアップが行う仮説検証を支援。

イ【支援者向け研修会・交流会及びワークショップの実施】

各地域におけるスタートアップ・エコシステムの主体性醸成に向け、自治体等を対象に、スタートアップ・エコシステム形成に取り組む目的及び地域特性や強みの整理、新たな自治体等の巻き込みを行う研修会及びワークショップを実施。また、スタートアップと自治体等が交流することのできるイベントを実施。

② 東三河スタートアップ機運醸成支援事業

東三河スタートアップ推進協議会と協働の上、東三河地域がスタートアップ・エコシステムの形成に向けて取り組んだ成果を打ち出すイベントを開催。



「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」中間デモデイの様子
(2022年10月20日)



東三河スタートアップ推進協議会との共催イベントの様子
(2023年2月16日)

(3) 事業の成果

内 容	回 数
地域とスタートアップのビジネス共創プログラムにおける参加自治体・支援機関	12 団体
支援者向け研修会・交流会及びワークショップの開催	16 回

(4) 具体的な成果事例

1	スタートアップと地域のビジネス共創プログラム「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」に参加した株式会社picks design (名古屋市中村区) が、地域パートナー (大府市、豊橋市、豊川市、西尾市、設楽町、東三河スタートアップ推進協議会) の協力のもと、2023年4月1日に地域の珍しい商品が届く「そのとちぎふと」のサービスを開始。
2	株式会社TOWINGが、地域パートナー (大府市、設楽町、豊川市、豊橋市、西尾市) の協力のもと地域のJA (農業協同組合) とマッチングし、高機能バイオ炭の実用化に向けた実証を実施。

(5) 2023年度事業について

統括マネージャーを1名増員して合計3名配置し、パートナー拠点の設立促進に向けて以下のプログラムを実施。

内 容	対象者	実施期間
自治体等にスタートアップ支援の実践機会を提供し、地域でのスタートアップ・エコシステム形成促進を目的に、スタートアップと地域の自治体等とのビジネス共創プログラム「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」の実施	自治体、スタートアップ支援機関、商工会議所、金融機関、スタートアップ等	10月～3月 (予定)

スタートアップ・エコシステムの概念理解や、スタートアップ・エコシステム形成に取り組む目的の整理を行うワークショップ及び勉強会の実施	自治体、スタートアップ支援機関、商工会議所、金融機関等	随時
スタートアップや自治体等が定常的に接点構築できるコミュニティの運営と、コミュニティ内での勉強会及び交流会の実施	自治体、スタートアップ支援機関、商工会議所、金融機関、スタートアップ等	7月～3月

4 あいちマッチング

(1) これまでの経緯

愛知県は、愛知県内の企業のイノベーション創出や新事業展開を図るために、スタートアップとのオープンイノベーションを促進しています。その一環として、2019年度から、スタートアップ支援に造詣の深いコーディネーターが、全国のスタートアップと愛知県企業のマッチング等を行うことで、オープンイノベーションを促進する「あいちマッチング」を実施しています。

(2) 事業概要

① 【マッチングプログラム（商談会）及びアクセラレーションプログラムの実施】

マッチングプログラムを事業前半で1回実施するとともに、事業後半には、アクセラレーションプログラム^{*}として、マッチング後の事業共創に係る伴走支援を、愛知県企業とスタートアップの両者に対して行うことで、協業・出資等の具体的な成果に結びつける。

② 【ネットワーキングイベントの開催】

オープンイノベーションの機運醸成を目的として、愛知県企業に対してオープンイノベーションの事例、実施手法等を紹介し、企業間で交流を深める、ネットワーキングプログラムを実施。

※短時間で事業共創を加速することを目的に、コーディネーターによる定期メンタリング（面談）、実証実験の支援、愛知県企業の社内プレゼン実施のサポート等を実施。



2022年度プログラム説明会の様子
(2022年9月14日)



2022年度ネットワーキングイベントの様子
(2023年1月26日)

(3) 事業の成果

4年間にわたる事業により、以下のような成果が創出されました。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	計
① マッチング（商談）件数 ^{※1}	113件	145件	149件	130件	537件
② 協業件数 ^{※2}	2件	5件 ^{※3}	12件 ^{※4}	22件 ^{※5}	41件
③ ネットワーキングイベント参加者数	113名	108名	90名	224名	535名

※1 2019年度は延べ25社の企業、延べ88社のスタートアップ、2020年度は延べ29社の企業、延べ164社のスタートアップ、2021年度は延べ33社の企業、延べ175社のスタートアップ、2022年度は21社の企業、延べ143社のスタートアップがマッチングプログラム（商談会）に参加

※2 協業とは、事業会社とスタートアップによる新規事業の創出、新製品・新サービスの開発などを表す。

※3 このうち、2件は2019年度にマッチングを行い、2020年度に協業成果が表れたもの。

※4 このうち、2件は2020年度にマッチングを行い、2021年度に協業成果が表れたもの。

※5 このうち、4件は2021年度にマッチングを行い、2022年度に協業成果が表れたもの。

(4) 具体的な成果事例

1	形状記憶合金の加工・販売を行う株式会社吉見製作所（大府市）が、コミュニケーションロボットの企画・開発を行うユカイ工学会社（東京都新宿区）と2021年度のあいちマッチングで面談し、共同で開発した製品を2022年9月に実施した「Maker Faire Tokyo 2022」で展示。 <small>メイカー フェア トウキョウ</small>
2	名古屋鉄道株式会社（名古屋市中村区）が、栄養改善サービスを提供する株式会社ユカシカド（東京都渋谷区）と2022年度のあいちマッチングで面談し、駅の空き区画を活用してパーソナライズした栄養改善食を提供するサービスの実現に向けて、2023年3月に実証実験を実施。

(4) 2023年度事業について（2023年5月11日発表済み）

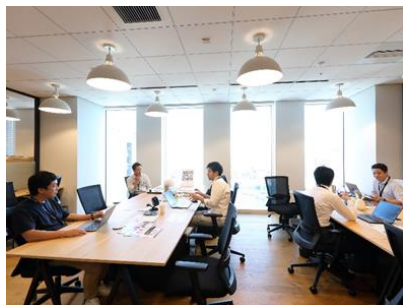
今年度は、昨年度と同様に新規事業領域（テーマ）の設計支援からマッチングプログラムの開催、その後のアクセラレーションプログラムを実施していく中で、より個別の会社に寄り添った支援を強化し、愛知県企業とスタートアップの事業の共創を促進します。

内容	対象者	募集期間	実施期間
マッチングプログラム（商談会）及びアクセラレーションプログラムの実施	全国のスタートアップ・愛知県内に本社及び事業所を置く企業	企業：2023年5月11日～6月2日（募集終了） スタートアップ：8月中旬～10月上旬頃	5月～2024年2月（11月上旬にマッチングプログラムを実施）
ネットワーキングイベントの開催	同上	8月、12月（予定）	9月、1月（予定）

(参考1) PRE-STATION Ai について



「We Work グローバルゲート名古屋」
内に立地



入居者がワークスペースとして活用



WeWork のオープンスペースで、
交流イベント等の開催が可能

- **開設時期**：2020年1月16日（2020年1月16日に「STATION Ai 早期支援拠点」として開設した後、STATION Ai の主要機能を概ね備えるために新たな機能を充実して、2021年4月1日に「PRE-STATION Ai」に改称）
- **場 所**：WeWork グローバルゲート名古屋(名古屋市中村区平池4-60-12)
- **メンバー種別**：Standard メンバー、Remote メンバー
- **登録資格**：愛知県内に既に本社機能を設置している者、若しくはメンバー登録から1年以内に愛知県内に本社機能を設置する意志がある者、又は愛知県内において事業展開している者、若しくはメンバー登録から1年以内に愛知県内において事業展開する意志がある者 等
- **登録期間**：原則1年間（更新可）
- **登録料金**：無料
- **提供する支援サービス**

		Standard メンバー	Remote メンバー
オフィス利用に付随する支援サービス	オフィスの提供	原則、最大5席	—
	「PRE-STATION Ai」の住所における法人登記	○	—
	We Work が提供する各種サービスの利用（一部制限あり）	○	—
ファウンダーズプログラム ※1	メンタリング※2	○	○
	ピッチコンテスト※3	○	○
	デモデイ(成果発表会)	○	○
	交流会・勉強会等のイベントへの参加	○	○
	「ギルド」の仕組みによるメンバー間交流会	○	○

※1 「PRE-STATION Ai」メンバーの事業成長を目的とした基幹支援プログラム。

- ・ メンバーの成長段階に応じた1年間のプログラムを提供。

- 専任のメンターや成功した起業家による事業アイデアやビジネスモデルのブラッシュアップ。
- プログラム参加メンバーにより「ギルド」を構成。「ギルド」内及び「ギルド」間で交流を深め、事業成長に寄与する充実したコミュニティを形成。
- 「ギルド」間交流会、ピッチコンテスト、Demo Day 等を開催することで、緩やかなライバル意識のもとで相互に磨き上げ

※2 アドバイザーによる個別相談対応。

※3 スタートアップ等の起業家が、投資家などの審査員に対して自らの事業計画をプレゼンテーションするイベント。

(参考2) PRE-STATION Ai の統括マネージャーについて

受託会社：STATION Ai 株式会社

実施体制：統括マネージャー9名、コミュニティマネージャー5名を配置。

(参考3) Aichi Partner VCについて

この地域のスタートアップの資金調達を支援するため、愛知県が以下の15社を「Aichi Partner VC」として認定し、スタートアップとの面談の機会の提供等を行っています。

	企業名 (所在地)	代表者	投資対象
1	株式会社i S G Sインベスト メントワークス (東京都港区)	ごしまかずひと 五嶋一人	シードから プレ IPO まで
2	株式会社アプリコット ベンチャーズ (東京都渋谷区)	しらかわともき 白川智樹	プレシードから シードまで
3	Wedge株式会社 (東京都中央区)	ながいけんこう 永井研行	プレシードから シリーズ A まで
4	Xtech Ventures株式会社 (東京都中央区)	てしまひろき 手嶋浩己	創業直後から アーリーまで
5	株式会社グロービズ・ キャピタル・パートナーズ (東京都千代田区)	ほりよしと 堀義人	シードから プレ IPO まで
6	株式会社サイバーエージェント・ キャピタル (東京都渋谷区)	こんどうひろふみ 近藤裕文	シードから アーリーまで
7	株式会社サムライインキュ ベート (東京都港区)	さかきばらけんたろう 榊原健太郎	シードから シリーズ A まで
8	株式会社ジェネシア ベンチャーズ (東京都港区)	たじまそういち 田島聡一	シードから アーリーまで
9	ゼロイチキャピタル 合同会社 (東京都港区)	たねいちりょう 種市 亮	創業前から シードまで
10	株式会社ディープロコア (東京都文京区)	に き かつまさ 仁木勝雅	シードから アーリーまで
11	株式会社デライト・ ベンチャーズ (東京都渋谷区)	なんぼともこ 南場智子 わたなべだい 渡辺大	シードから アーリーまで
12	三菱UFJキャピタル株式会社 (東京都中央区)	かつさいよういち 葛西洋一	シードから レイターまで
13	ライフタイムベンチャーズ (神奈川県横浜市)	きむらりょうすけ 木村 亮介	プレシードから シードまで
14	ANRI株式会社 (東京都渋谷区)	さまたあんり 佐俣安理	シード・ アーリー
15	インキュベイトファンド 株式会社 (東京都港区)	あかうらとおる 赤浦 徹 / ほんままさひこ わ だけいすけ むらたゆうすけ 本間真彦/和田圭祐/村田祐介/ ポール・マクナーニ	シード・ アーリー

(1～13は、2021年7月27日認定、認定期間は2024年3月31日まで。14～15は、2022年6月7日認定、認定期間は2024年3月31日まで。)

(参考4) STATION Ai パートナー拠点事業について

受託会社：パーソルイノベーション株式会社 エイコン カンパニー eiicon company

(現 株式会社 eiicon)

実施体制：エコシステム形成支援マネージャー2名を配置。

(参考5) 国内事業の一覧について

事業名	ステージ (※)	目的
①あいちスタートアップキャンプ	Seed	「革新的ビジネスアイデア」で起業しようとする者や起業間もない者を発掘・育成し、シードステージの形成を推進
②ビジネスプランコンテスト	Seed	スタートアップの創出に繋げるビジネスプランコンテストを開催
③あいちスタートアップスクール	—	小中高生を対象とした、模擬会社設立ワークショップなど、各世代に応じた起業家育成プログラムの実施
④PRE-STATION Ai	Seed ↳ Expansion	PRE-STATION Ai に統括マネージャー、コミュニティマネージャーを配置し、相談窓口やスタートアップへの総合支援等を実施
⑤AICHI STARTUP BRIDGE	Seed Early	VC とのネットワーク、当地域へのコミュニティへの参加を通じて、スタートアップと VC が出会いやすい環境づくりを実施
⑥STATION Ai パートナー拠点	Seed Early	愛知県内各地域において、主体的にスタートアップ支援に取り組む機関等を「STATION Ai パートナー拠点」と位置づけ、「STATION Ai」との相互の連携・協力関係の構築を進めていくことで、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を促進
⑦あいちマッチング事業	Expansion	全国のスタートアップと愛知県企業とのオープンイノベーションの促進による経営革新、付加価値創造

※ 今回、④～⑦の事業を PRE-STATION Ai の成果として報告。

※ スタートアップの成長ステージについて

シード
【Seed】…創業期。コンセプトやビジネスモデルは存在するが、具体的な製品やサービス自体は未完成の状態。

アーリー
【Early】…事業化初期。製品やサービスを実際に開発し、リリースを始めた状態。

エクспанション
【Expansion】…成長期。製品やサービスの販売が軌道に乗り、黒字化が見えてきた状態。